

授業科目等の概要

(分野専門課程 スポーツマネジメントテクノロジー科 昼間I部) 2024年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			キャリアプランニング	社会人・業界人として必要な一般常識から、就職に向けての書類作成方法や面接の受け方等について幅広く学ぶ。また人と接する仕事をするうえで必要なコミュニケーションスキルから、社会人として必要なマナー等について学ぶことにより、業界研修等に向けての準備として位置づけ、業界人としての心構えを身につける。	1 2 3 4 年 年 年 年 ・ ・ ・ ・ 通 通 後 前 年 年 期 期	180	12	○			○		○		
○			ビジネススキル	グローバルな感性を養うとともに、情報処理の知識を習得し国際化に対応できる能力を身につける。	1 2 4 年 年 年 ・ ・ ・ 通 前 後 年 期 期	180	12	○			○		○	○	
○			ホスピタリティ	業界のプロを目指す上での、身構え・気構え・心構えを学び、幅広く活躍できる知識と技術を身につける。	1 2 3 4 年 年 年 年 ・ ・ ・ ・ 前 前 後 前 期 期 期 期	120	8		○		○		○		
○			生理学	人体の機能について、生理学的側面からの基礎を学び説明することができる。	1 年 ・ 前 期	30	2	○			○		○	○	
○			解剖学	全身の筋・骨格系における解剖学の基礎を中心に学び説明することができる。	1 2 年 年 ・ ・ 通 前 年 期	90	6	○			○		○	○	
○			運動学	人体の構造や筋・神経系統における力学的側面についての基礎を学び説明することができる。	1 年 ・ 後 期	30	2	○			○		○	○	
○			栄養学	各栄養素についてその消化、吸収、代謝など栄養一般の基礎知識を学び、指導できるようになる。	1 2 年 年 ・ ・ 前 前 期 期	60	4	○			○			○	
○			指導者論	スポーツ指導者として必要となるスポーツ・健康に関する基礎知識や社会の役割について学び指導できるようになる。	1 年 ・ 前 期	30	2	○			○		○	○	
○			社会学	現代社会におけるスポーツの必要性や意義、役割や歴史について学び説明できるようになる。	2 年 ・ 後 期	30	2	○			○			○	
○			基礎医学	スポーツ医学に関する知識を学ぶとともに救急処置法の座学、演習を通じて救急処置ができるようになる。	1 2 3 4 年 年 年 年 ・ ・ ・ ・ 通 通 後 通 年 年 期 年	210	14	○	△		○			○	

○		エクササイズ基礎	トレーニングの種類や方法、様々なエクササイズを体得し、指導することができるようになる。	1 2 3 4 年 年 年 年 ・ ・ ・ ・ 通 通 通 通 年 年 年 年	270	18	△	○		○	○	○	○	
○		英会話	海外の選手やスタッフ、顧客とのコミュニケーションに必要となる語学力（英語力）を身につける。	1 2 3 4 年 年 年 年 ・ ・ ・ ・ 通 通 通 通 年 年 年 年	360	24	○			○				○
○		グローバルプログラム	国際教育を通して、語学力・コミュニケーション力を高めると共に海外の生活環境や文化の違い等を体感できる。	3 年 ・ 通 年	450	30	○	△		○				○
	○	コーチング	コーチングの基礎的知識を身につけ、応用として様々な手法を学びスキルを深めていくことができる。	1 2 3 4 年 年 年 年 ・ ・ ・ ・ 後 通 後 通 年 年 年 年	180	12	○				○			○
	○	データ分析	身体動作についての基礎的知識を深め、実技を通して動作分析の流れを理解することができる。	2 4 年 年 ・ 通 通 年 年	120	8	○	△		○				○ ○
	○	スポーツセンシング	スポーツ動作を分析するためのデータ収集について学び、説明することができる。	2 4 年 年 ・ 通 通 年 年	120	8	△	○		○				○
	○	パフォーマンス	ストレングスやコンディショニングにおける知識を身につけ、技術を実技を通して習得することができる。	1 2 3 4 年 年 年 年 ・ ・ ・ ・ 後 通 後 通 年 年 年 年	180	12	△	○		○				○
	○	コンディショニング	スポーツマッサージやストレッチング、ウォーミングアップやクールダウンを演習を通じて身につけることができる。	1 2 3 4 年 年 年 年 ・ ・ ・ ・ 後 後 後 通 期 期 期 年	150	10	○	△		○			○	○
	○	スポーツビジネス	スポーツに関連するマーケティングについて、その基礎的知識から事例を通じて幅広く学び、マーケティング力が身につく。	1 2 3 4 年 年 年 年 ・ ・ ・ ・ 後 通 後 通 年 年 年 年	210	14	△	○		○			○	○
	○	集客	集客における基礎的知識をもとに、スポーツイベントにおけるプランニングを立案できる力を身につけることができる。	2 4 年 年 ・ 通 通 年 年	120	8		○		○	○			○
	○	制作	イベントに関わる映像等、プロモーションについての知識を身につけ、その手法を理解することができる。	2 4 年 年 ・ 通 通 年 年	60	4	△	○		○				○
	○	広告・宣伝	業界における広告・宣伝の実際を知り、見せ方・伝え方の知識を身につけることができる。	1 2 3 4 年 年 年 年 ・ ・ ・ ・ 後 通 後 通 年 年 年 年	180	12	△	○		○				○ ○
	○	テクノロジー	国内・海外で活用されている最新のテクノロジーを知り、新しいスポーツビジネスに向けて考案し行動する能力を高めていくことができる。	1 2 3 4 年 年 年 年 ・ ・ ・ ・ 後 通 後 通 年 年 年 年	180	12	△	○		○				○ ○

○	イベント	スポーツに関連するマーケティングについて、その基礎的知識から事例を通じて幅広く学び、マーケティング力が身につく。	1 年 後 期	2 年 前 期	3 年 後 期	4 年 通 期	150	10	△	○	○	○	○	○
○	産学連携プログラム	業界におけるプロと共に、現場の中で知識・技術を高めていくことができる。これまでになかった新しいものの発想とそれらを伝えていくプレゼンテーション力を高めることができる。	1 年 後 期	2 年 前 期	3 年 後 期	4 年 通 期	180	12		○	○	○	○	○
○	特別講義	業界の方々から様々な知識を得ることにより、自身の将来設計について考えるとともに、気づきを得る。	1 年 通 年	2 年 後 期	3 年 前 期	4 年 通 年	120	8	○	△	○		○	
○	卒業制作	4年間の集大成として各自各グループでテーマを設定し課題に取り組む。最終的に各グループ全てが学内でプレゼンテーションを行うことで自主性を養うことができる。	3 年 後 期	4 年 通 年			90	6		○	○	○	○	○
○	健康運動実践	健康づくり事業財団認定の「健康運動実践指導者」資格試験対策を行う。	2 年 通 年				90	6		○		○	○	○
○	資格・検定対策	スポーツ業界で活躍するために、スポーツテクノロジーの知識を深め、それらに関連する資格取得を目指していく。	1 年 通 年	2 年 後 期	3 年 前 期	4 年 通 年	120	8		○	○	○	○	○
							29科目	単位時間(290単位・4350時間)						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
授業科目の成績評価は、学年末において各学期末に行う試験、実習の結果、履修状況等を総合的に勘案して行い、校長は課程修了の認定を行う。	1 学年の学期区分	2期	
	1 学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。